

令和5年度 第1回 全国健康保険協会北海道支部評議会開催結果（概要）

令和5年7月19日（水）全国健康保険協会北海道支部（THE PEAK SAPPORO 4階会議室A）において、9名中7名の評議員の出席をいただき、令和5年度第1回全国健康保険協会北海道支部評議会を開催いたしました。その概要につきましては、以下のとおりです。

1. 日時 令和5年7月19日（水） 14:00 ～ 16:00
2. 場所 全国健康保険協会北海道支部
（THE PEAK SAPPORO 4階 会議室A）
3. 出席評議員 尾池評議員、小倉評議員、片桐評議員、武山評議員
鄭評議員、寺田評議員、牧野評議員（五十音順）
4. 議事
 - （1） 令和4年度決算（見込み）について
企画総務部長より資料に基づき説明後、議事に対する意見があった。
 - （2） 令和4年度北海道支部事業結果報告について
各グループ長より資料に基づき説明後、議事に対する意見があった。
 - （3） 協会けんぽの都道府県支部別医療費・健診結果の分析について
企画グループ長より資料に基づき説明後、議事に対して特段意見はなかった。
 - （4） 医療保険者を取り巻く最近の動向について
企画グループ長より資料に基づき説明後、議事に対する意見があった。

議長は以上をもって、本日の議事が終了したことを述べ、閉会した。

5. 議事に対する評議員からの主なご意見・ご発言
以下のとおり。

議題 1：令和 4 年度決算（見込み）について

【事業主代表】

・準備金はどのような状況で切り崩されるのか、保険料率への還元も含めてお聞きしたい。

【事務局】

・準備金は、単年度収支が赤字になった場合に限り取崩すことができる。保険料率を設定する時点で、単年度収支が赤字とならない範囲内で料率を引き下げることが不可能ではないが、協会の保険財政が赤字構造であり、今後赤字となることが見込まれている中では、一時的な引下げよりも、保険料率10%を可能な限り維持することが重要との考えから、結果として準備金が積み上がってきた経緯がある。

【事業主代表】

・平成 21 年度の単年度収支のマイナスにより、準備金が大幅に減少しているが、この時期にどのような変化があったのか。また、今後の保険料率の見通しを伺いたい。

【事務局】

・この時期は、新型インフルエンザの流行による医療費支出の急激な増加、またリーマンショックの影響によって、保険料収入が減少したことなどから、単年度収支は赤字となり、準備金もマイナスとなった。翌年度の保険料率決定にあたっては、国庫補助率を上げるなどの財政特例措置を講ずることで、料率の引上げ幅を可能な限り抑えた。この経験から前述のような考え方のもとで準備金が積み上がっている状況にあるが、保険料率の設定については、毎年度収支の見通しを踏まえながら評議会で様々な視点からご意見を頂戴し議論している。

議題 2：令和 4 年度北海道支部事業結果報告について

【事業主代表】

・KPI の数値目標で対前年度以上と設定しているものは、取組への評価として適切か検討が必要ではないか。前年度対比を続けると目標達成のハードルは上がり、最終的には達成が難しい数値が設定され、職員の意欲にも影響を与えるのではないか。

【事務局】

・目標設定の在り方は、協会では従来から議論されているところ。頂いたご意見も踏まえ協会本部、47 支部含め議論していく必要があると認識している。

【被保険者代表】

・返納金債権の回収率は、令和4年度ではマイナスに転じているが、近年の傾向としては上がっているのか。

【事務局】

・KPIは、当該年度中の発生債権を年度中に回収した割合を示しているが、過年度と現年度を合わせた数値では、令和3年度と令和4年度の差は大きくない。

【被保険者代表】

・資格取得の際はマイナンバーを提出しているが、被扶養者資格の再確認において、マイナンバーで突合可能な部分はないのか。現在は変化の過程の段階なのか、また今後の方向性について聞きたい。

【事務局】

・現状は被扶養者資格の再確認時に対象者の再就職の可能性ありなどを表示し送付している。マイナンバーを活用し、確認対象者の資格を自動的に喪失させるというのは議論の余地がある。今後もマイナンバーを活用して得られた確認対象者の居住等の情報をご案内し、確認業務を進めていきたいと考えている。

【被保険者代表】

・毎月送付される広報紙について、より多くの方に見ていただくことはできないか。

【事務局】

・会社の福利厚生担当に見ていただくだけでなく、加入者の皆さまに見ていただきたいが、全体に届ける広報は難しいと実感している。SNSをはじめとした様々な媒体を活用し、広く道民に拡散できるよう努めていく。

【事業主代表】

・事業結果報告について、結果に対するPDCAのアクションにあたる部分はどう行っているのか。結果に対する原因分析とその原因への対応策を次年度以降どう活かし実施するかを、結果報告や次年度の事業計画で見えるようにすべき。

【事務局】

・現在の実施状況や目標に対する結果を活かしながら事業を行い、PDCAサイクルを回している。資料構成も参考にさせていただき、結果に応じたアクションを示すようにしたい。

【被保険者代表】

・ハラスメント研修において、実施内容はどのようなものか。また、顧客によるハラスメントの実態はあるか。

【事務局】

・パワーハラスメントを中心に、管理職・一般職の両方の観点についてビデオを使った研修を行っている。カスタマーハラスメントは、どう定義するか難しいところではあるが、電話対応研修で顧客からの極端なクレーム対応について講義を受けている。

議題3：協会けんぽの都道府県支部別医療費・健診結果の分析について

・特になし

議題4：医療保険者を取り巻く最近の動向について

【学識経験者】

・マイナンバーについて、保険者の立場として協会けんぽが実務的に気にかかる部分や、国に訴えていきたいことがあれば伺いたい。

【事務局】

・オンライン資格確認における登録データの点検実施後の作業はあるが、その後の事務的な部分は読めないところが多い。組織として国に対する発言については、現時点で支部として把握しているものはない。

以上